

2019.1. 25 <計 2 枚>

広島市政記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

経済産業省『「未来の教室」実証事業』委託事業**食品メーカー@広島×東京****“つくとたべる”のチェンジ・メイカー育成プログラム成果報告会のご案内**

立命館東京キャンパス(東京都千代田区、所長:宮下 明大)は、2月2日(土)、サテライトキャンパスひろしま(広島県民文化センター5階)において、「“つくとたべる”のチェンジ・メイカー育成プログラム」に参加する学生や社会人による報告会を開催いたします。本プログラムは、経済産業省平成29年度補正「学びと社会の連携促進事業(「未来の教室」(学びの場)創出事業)」の『「未来の教室」実証事業』に採択されたプログラムです。

これまでの常識や前提が通用しなくなると予想されるこれからの社会には、「チェンジ・メイカー」(変化・革新・付加価値をもたらす人)が必要です。本プログラムは、このような人材を育成することを目指し、課題発見・解決型のPBL学習(Project Based Learning)を全面的に取り入れています。リアルな課題の解決に取り組む機会を通して問題解決力を習得するため、広島県廿日市市にある中国醸造株式会社様の協力を得て、昨年11月から東京での事前ワークと現地でのフィールドワークに取り組みながら、企業や地域が抱える課題を発見し、解決策を模索してきました。

今回の報告会では、年齢、経験、国籍などを超えて、多様な人材で構成された3つのチームに分かれて、プログラムにおいて検討してきた企業や地域に課題解決策の提案を行います。

記

日 時：2019年2月2日(土) 14:00~16:00 (13:30 受付開始)

会 場：サテライトキャンパスひろしま

広島県民文化センター5階 502 (広島市中区大手町1丁目5-3)

内 容：別紙参照

出席者：白井 龍一郎 中国醸造株式会社 代表取締役会長

坂本 和也 経済産業省 教育産業室 室長補佐 ほか

参加費：見学無料(事前申込み不要) ※どなたでもご参加いただけます。

発表テーマ：“Miyajima de Night”(宮島を中心とした地域活性化案の検討)

「桜尾ジン」のブランド力向上をめざして～伝統と革新で広島から世界へ～

広島酒の魅力 再発見→リブランディング～競争から協調への変革へ～

※内容は検討中のものであり、変更の可能性があります。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL. 075-813-8300

<http://www.ritsumei.ac.jp/>既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティ**Beyond Borders**

別紙

プログラム

- 14:00 開会
- 14:05 本プログラム・報告会の概要説明 三好秀和（立命館大学経済学部 客員教授）
- 14:10 来賓ご挨拶 坂本和也（経済産業省教育産業室 室長補佐）
- 14:15 ゲストメンテーターとプロジェクト委員の紹介
- 14:20 各チームからの PBL 成果発表
- 15:50 総評 齋藤雅通（立命館大学経営学部 教授）

経済産業省平成 29 年度補正「学びと社会の連携促進事業（「未来の教室」（学びの場）創出事業）」の『「未来の教室」実証事業』について

経済産業省の『「未来の教室」実証事業』では、2018 年 1 月～6 月に開催された経済産業省「未来の教室」と EdTech 研究会での議論内容を踏まえた「未来の教室」の姿を具現化するための実証事業を行っています。

実証事業を通じて、成功例、または成功例に繋がる足掛かりを創出すると共に、開発／運営にあたっての課題を抽出し、解決の方向性を見出すことで将来的にそれらを全国普及／継続実施していくための道筋もつけることを目的としています。

プログラム参加者情報

社会人 18 名

大学生 2 名

※うち 2 名が外国籍の参加者で、19 歳から 61 歳までの老若男女、多様な世代の方がチームを組み、課題解決に取り組んでいます。

プログラムの様子



<オープンセッションの様子>



<チームでの議論の様子>

以 上